

すべての原発いまずぐなくそう！ 全国会議

第19号

2014.11.15発行

カンパ 5.0円

発行：NAZEN 事務局

東京都杉並区天沼 2-3-7 さかいビル 3B

info@nazen.info

NAZEN 通信



解散総選挙は安倍政権の崩壊 社会を根本から変える選挙戦へ！

解散総選挙（12月2日公示 14日投票予定）は安倍打倒の大チャンスです。追い込まれての解散。まさに安倍政権の崩壊です。

防衛産業はじめ大企業のための集团的自衛権 原発輸出、そして「地方創生」とは名ばかりの規制緩和・民営化と労働組合破壊で地方を食い物にする「命よりもお金」の内閣は、当然にも金銭腐敗でドミノ辞任状態。株価への介入の継続のために郵便局の貯金を使い、次は年金も使っちゃおうと決めてもアベノミクスは崩壊必至。事実上の安倍の崩壊です。全国の怒りを前に「自民は100議席失う」という試算もあるという。

今こそ安倍政権をたおそう。全ての怒りを解き放とう。川内原発の再稼働を認めた鹿児島県知事は「（毎時5マイクロシーベルトでも）避難の必要はない。普通に生活してよい」「もし福島みたいなことが起きても、もう命の問題なんか発生しない」と言い放った。その一方、不安を抱える福島子どもたちには甲状腺検査結果の「誤発送」。どこまで命をもてあそぶのか！ 未来そのものである子どもたちの命を金に換え、社会が崩壊する寸前まで儲ける。こんなやつらにこの社会を任せておくことはできない。

京大生の闘いに続こう。学内集会を監視して



労働者集会には5700人（11/2日比谷野音）。デモで逮捕された3学生の即時釈放を。公安警察と闘う京大生に続こう！

いた公安警察を取り押さえて追い出し学生たちが闘っている。国家権力に大学が支配されれば軍事研究と学徒動員の道。全く正当な闘いです。労働者にとっては職場を資本や国家から奪い返すことがこの社会を変える道。解散総選挙は、既成野党に投票する闘いじゃない。新しい労働者の党を作り、新しい社会を目指す闘いです。一緒にやろう。世界を変えよう。（織田）

- ◆ ぶくしまから 福島の高校生 佐藤美菜さん …… 2ページ
- ◆ 再稼働採択した鹿児島県議会を包囲 闘いはこれから NAZEN福岡 …… 3ページ
- ◆ 11・2労働者集会の発言から 福島、長崎、動労水戸の発言 …… 4～5ページ
- ◆ 保養のおたより 広島 山梨 和歌山 …… 6～7ページ



「フクシマの有る国で」

佐藤 美菜さん（福島の高校生）

8月の青空に今もこだまするのは遠き被爆者の声

あなたに感じていますか
手のひらの温もりが
人のくやし涙が
生き続ける苦しみが
私の国と、かの国の人の命は同じ
この青い大地の上に同じ生を得たのに
ヒロシマの有る国でしなければならないことは
灯る戦(いくさ)の火種を消すことだろう

この詩は「ヒロシマの有る国で」と言う歌の歌詞です。

3年前日本は、「フクシマの有る国」になりました。フクシマでは、町も人も自然にも放射能が降りました。

「ヒロシマの有る国」は灯る戦の火種を消さなければいけません。

「ヒロシマの有る国」が戦に参加したら、いったい誰が戦の火種を消すのですか。

原発も同じです。

「フクシマの有る国」が原発を作ってしまったら、いったい誰が原発をなくすのですか。

「フクシマの有る国」でしなければならないことは世界中の原発をなくすことだと思います。

私の母は原発事故後、放射能を「見えない戦場の炎」と呼んでいます。

放射能は見えなくとも、確かにそこにあります。

罪のない子どもを犯し続けています。

私は、自分の子どもを放射能で犯したくありません。

誰も、人の命を奪う権利はありません。

ヒロシマに黒い雨が降ったように、フクシマにも黒い雨が降りました。

日本中に原発がある限り、誰もフクシマを他人事にはできないでしょう。

皆さんの上や富士山にも黒い雨が降るかもしれません。

そして、フクシマの原発事故はまだ終わっていません。

そのことを忘れてほしくなくて、この場をお借りしてお願いしたいと思います。

私は、3.11で心に傷を負いました。

その傷は見えるところに置いておきます。

だから、今も傷を負いながら、見えない戦場の炎の中で戦っている人がいるということを、あなたの中に刻んで下さい。

これまでの歴史で強い国が弱い国を支配してきたように、

強いものが生き残る世界なのかもしれません。

でも、武力で支配することは、いじめと同じだと思います。

集団で、一つの国を攻撃することは優しいことではないと思います。

戦争は、人を悲しませるだけだと学んできました。

実際、紛争等のニュースを見ると悲しくなります。

少しでも優しい心があるなら、そのようなニュースは喜べないと思います。

私は、日本を強く優しい国にしたいです。

権力や立場のような強さではなく、1人の人間としての自覚を持っている強さ。

謙虚や遠慮のような優しさではなく、1人1人、1つ1つの命を尊重できる優しさ、

本当の弱さ、本当の強さ、本当の優しさ、本当の平和、本当の自由、本当の幸せ、

私自身考えなければならぬと思っています。

私は、1人の声がどれだけ大切か知っています。

だから、私の声も誰かに届いていることをただ祈りたいと思います。

11・7鹿児島県議会 川内原発再稼働採択

議場内外で天を衝く怒り 闘いはこれからだ



11月7日、川内原発再稼働を決めた伊藤知事と鹿児島臨時県議会への怒りの声が轟いた。

10月31日から県庁入口にテントが張られ、「知事は県民の声を聞け！」の横断幕や檄布が並び、県庁前は「反対派ひろば」となった。「ストップ再稼働！ 3・11鹿児島集会実行委員会」の主催で、終日の座り込みや集会で抗議。

県内はもとより九州全県、福島をはじめ全国から結集し「再稼働は人殺しだ！」と怒りの声をあげた。NAZEN福岡、合同労組レイバーユニオン福岡も行動の先頭に立った。

◆400人が県議会を包囲

臨時議会は伊藤知事のごり押しだった。議員視察予定を一方的に取り消し、12月県議会を前倒したのだ。前日の特別委員会は、本会議採択のために、10時から翌日の午前0時35分までかけ、全ての採択を終了させた。

7日の本会議で「再稼働反対31件、賛成1件」の陳情をめぐる採決が行われた。自公は多くの県民の反対の声を無視、一つの質問もせず、数を頼みに賛成陳情を強行採決しようとした。「命よりカネ」むき出しの姿に、傍聴席を埋めた反対派は、一斉に立ち上がり怒りの声をぶつけた。「NO！」のボードとともに「再稼働反対！」のシュプレヒコールは議場いっぱい響いた。その迫力に、議長や自民議員らは呆然とするだけだ。

傍聴できなかった人たちは隣の県庁舎で「2階のモニター室で観れると議会当局は言っている。中に入れて観させろ！」と申し入れた。ところが県職員が入口を固め中に入れさせない。県当局は、「反対派が何をするか分からないから」と県庁業務を停止、県庁舎全体を封鎖していたのだ。怒った市民らは、職員に激しく詰め寄って抗

議を繰り返した。NAZEN福岡事務局から「この場で抗議集会をやろう」と呼びかけ、県庁入口前は再稼働を弾劾する抗議集会の場が変わった。

◆採択強行に「闘いはこれから」

伊藤知事は採択後ただちに記者会見し、「地元同意が取れた」として受け入れを表明した。旧自治省官僚時代、石川県に出向し、企画課長として志賀原発誘致の中心だった伊藤は、「3・11」以降も「原発は必要」を繰り返しており、今回について「私の中では（再稼働受け入れは）終始一貫していた」と開き直った。まさに安倍や電力資本の手先そのものだ。

県庁前集会には傍聴していた人も合流し「絶対に再稼働させない！ 闘いはこれからだ」の声で埋め尽くされた。福島から駆けつけた人や避難者たちから、子どもたちの甲状腺がんなど内部被曝の恐ろしさが訴えられ、幼子をかかえた地元の青年が「この子のためにも闘う」と発言した。また、地元からは「避難計画は風向きを全く考慮していない。避難集結場所が津波などの危険区域に指定されている。災害対策基本法にも違反する」「日本火山学会の火山対策見直し提言を無視した」「バスでの避難は、バス会社の運転手たちが被曝線量の高いところなど行かないと言っている。まだ止められる」など弾劾の声が相次いだ。

「安全性は世界最高水準」「国が責任を持つと言っている」などまったくデタラメだ。動労水戸の被曝労働拒否の闘いに共感する人とも出会うことができた。労働組合が先頭になって闘えば、再稼働は絶対に阻止できる。改憲・戦争阻止と共に全力で闘おう！（NAZEN福岡・和田）



戦争・外注化・再稼働の安倍を倒せ！ 111・2労働者集会に5700人 福島と長崎からの訴え

今日を新たな出発の日に



福島診療所建設委員会 佐藤幸子さん

8月24日、県民健康調査検討委員会で、子どもたちの甲状腺がんが疑いも含めてついに103名と発表されました。3000人に1人という高い発症にもかかわらず、「放射能の影響は考えにくい」「地域格差がない」と言い切ったのです。

島のすべての地域に共通しています。

そのような中、震災後初めての福島県知事選挙が先月26日に行われました。

仮にこの発表が正しかったとするならば、日本中の子どもたちの3000人に1人が甲状腺がんになるということです。こんな深刻なことを誰一人、記者会見で質問しませんでした。

立候補者6名が福島県原発10基すべて廃炉を訴えました。結果は、与野党相乗りで「復興」を前面に押し出した前副知事の内堀氏に決まりました。県民も結局「命よりお金」なのかと、本当にやりきれない気持ちでいっぱいです。

福島の子どもたちを見殺しにして、何がオリンピックピックですか？何が原発再稼働ですか？原発を輸出する？冗談じゃありません！

史上2番目の投票率の低さを考えれば、選挙で変わらないと思っている県民が半分以上いるということです。有権者160万票のうち、内堀氏が取ったのはたったの49万票、3分の1以下です。3分の2以上の人たちの思いを内堀氏はくみ取ってくれるのでしょうか？

毎日、汚染水が増え続けています。その収束作業で作業員がどれほど被曝しているか、健康被害が今後どう出るのか誰も分からないのです。自分の国の原発事故の後始末もできずに、原発輸出するなんて、世界中に恥をさらすものです。事故の影響は、あらゆるところに出てきています。生きる希望を見いだせないのは、福

私たち国民が選んできた原発政策が間違っていたということに、きちんと向き合ひましょう。子どもたちの未来に原発も基地も戦争も要りません。原発で被曝しないためにも、若者が戦争に行くようなことを繰り返さないためにも、「命」が一番大切なのだということを再確認して、今日この日を新たな出発の日にしましょう。

子どもたちを再び戦場に送ることは許しません

NAZENナガサキ じょうだいみやこ 城臺美彌子さん

安倍政権になって、先の有事立法に始まって、教育基本法の改定、原子力基本法の改定、武器輸出三原則の緩和、福島原発事故をなかったものにしようとしているエネルギー基本計画、特定秘密保護法と国家安全保障会議法、そして集団的自衛権の容認、まさに暴走内閣です。

今、道徳教育で国を変える準備に入りました。この戦争への道はけっして許すことはできません。

ご存知のように、安倍晋三首相の悲願は懐古憲法です。明治憲法のコピーです。「豊かな強い日本」は「富国強兵」と同じです。教育現場では、

私はここで、全世界の労働者、地球市民と一丸となって、一步も引かないことを決意し、皆さんとともに歩みを進めていきたいと思っています。一緒に頑張りましょう。





問われているのは、私たち自身の変革

国労郡山工場支部 橋本光一さん

外注化阻止9・11郡山闘争は、JR東日本に目にも見せてやる事ができました。その総括は、国労という組合は現場の組合員が外注化阻止の闘いに立ち上がろうとしたのに、「中核派」がどうのこうのなどと理由にもならない理由を付けてつぶしてしまうような、そういう組織だということが明らかになったことじゃないでしょうか。

重要なことは、動労総連合が国鉄闘争全体、JRの反合理化闘争・外注化阻止闘争全体に責任を取るんだという立場で9・11に決起したこと、特に青年がきわめて主体的にその先頭に立ったことです。この動労総連合の決意に私は応えなければならないと思っています。

資本の側は、動労千葉の勝利的地平を全部ひっくり返そうとしています。JR資本は「使えない奴は死んでも構わない」とやっていて、自殺者・病者が続出しています。そんな切迫した情勢の中で「俺は国労だ」「俺は動労だ」のスタンスのままでいいはずはありません。私たち自身の変革が求められています。

私たちが労働者に対して突きつけてるんじゃないで、実は労働者の方が「今のままのあんたらじゃダメだ」と私たちに変革を突きつけているんじゃないでしょうか。私たちは、新しい同志をどうやって迎えるかが問われています。せっかく私たちを選択してくれた人が失望するような私たちの現状であってはなりません。

前に進みましょう。



被曝の強制・外注化と断固闘いぬく

動労水戸 石井真一委員長

原発事故はまったく終わっていません。私たち動労水戸は6月1日から竜田延伸ということで、JRが電車を誰もいないところに走らせることに反対してストライキで闘い抜いてきました。

健康被害は本当に広がっています。50人の子どもたちが甲状腺を切除し、100人の人たちがすでに甲状腺がんだとか、転移しているという報告すら出されています。そして、いわき運輸区では3人に血液異常が出ています。もうこういうところに電車を走らせて、私たちに、国鉄労働者に死ねという攻撃に対しては、私たちは断固として闘うしかないということです。

さらにJRは誰も乗らないからといって、8月1日から警備員を乗せて電車を走らせている。絶対に許せない。私たちは、断固今後も闘い抜いていくと宣言したいと思います。

外注化についても、MTS（水戸鉄道サービス）の特に大子事業所^{だいち}で起きていることは、まったくデタラメきわまりないことです。1人が病気になるって要員がないから、本線運転士を1人出向に出して、1カ月で1本（一人前扱い）にする。仕業検査（車両のブレーキなどの多岐にわたる主要部分を点検する熟練労働）もたった1カ月で1本にする。そして、その人がいないからと言って、今度は、誘導の労働者にも仕業検査をやらせる。2～3回の見習いで1本にする。これで安全が守れるでしょうか。俺たちがそんなに簡単な仕事をやってきたんでしょうか。怒りで、本当にはらわたが煮えくりかえています。

私たち動労総連合全員が、この外注化を全部JRに戻して、断固復帰するんだということを宣言して、私のあいさつとします。

(全国から保養の投稿を寄せて下さい)

9家族を受け入れた 広島・夏の保養

NPO 法人よもぎのアトリエ
・福島支援プロジェクト (室本けい子)

「24時間レントゲン室で生活しているようなもの、大丈夫な訳ないじゃないか!」と、3・11事故当初から医療機関と結びついた避難・保養を呼びかけていた「広島のアトリエ」(夫)が亡くなり、何家族もシェアできた大きな家も借りられなくなり、存続が危ぶまれたNPO法人よもぎのアトリエの保養ですが、安芸太田町の取り組み・大和町の「NPO法人在宅サービスひっぱら」^{あじなだい}「阿品台の小坪さん宅」^{よしわ}「吉和・めぐりの里のちひろ異の会」のご協力で、この夏も9家族(大人11人、子ども22人)の保養を受け入れることができました。いろいろな方のご協力の広がりつつなかりを心から喜びました。

9家族の中に4人の子どもを育てている母子が3家族、ちょっと心配で目が離せないお子さんをお持ちの母子が2家族、いろいろと緊張しました。

毎回のことですが、東京駅での東北新幹線から東海道新幹線への乗り換え時、赤ちゃんをおんぶして幼児の手を引き、荷物はびっくりする

ほど多く、そんな状態で人ごみの中を乗り換えしなければいけません。「婦人民主クラブ全国協」「福島の子どもたちとともに・世田谷の会」「福島の子どもたちとともに西湘の会」「緑の党」の有志の方々にボランティアしていただきました。なんととっても移動が大変です。

また、吉和町・五日市町・大和町・そして安芸太田町、さらに検査のための通院など、滞在中も、いろいろな方に手伝っていただきました。

福島からの皆様には、気になる人には検査をしてもらい「場所を変えた日常」を過ごしていただきました。

子どもたちは、経過観察の子どももいましたが、今のところ大丈夫! のびのびと元気にすごしてもらえました。大人の中に甲状腺機能低下症などちょっと心配な方がちらほら出てきました。でも薬を処方してもらい、「自分の倦怠感^{けんたいかん}が気のせいではなかったとわかってよかった」と喜んでもらいました。気軽に大人も検査できる制度を早く獲得すべき! とつくづく思いました。

福島と広島がつながって、被曝と向き合い、強く生き抜く! 避難・保養・医療の取り組みを続けなければと思いました。

山梨の古民家で6回目の保養 農民会議の果樹園で果物狩り 放射能から福島の子どもたちを守る山梨の会

私たち「放射能から福島の子どもたちを守る山梨の会」は、3・11から1年にあたる2012年3月以来、全ての原発の廃炉をもとめる運動と一体で、春休みと夏休みに福島の子どもたちを山梨に招く保養に取り組んできました。

6回目の保養となる「山梨での夏休み2014」は、8月8日から12日までの4泊5日の日程で行いました。前夜になって参加予定



の3兄弟に不幸ができ、参加者は小学生の女子5名となりましたが、皆思いきり遊んで、「楽しかった」「また来たい」と言って帰って行きました。短期間ですが喜んでもらえてよかったです。

宿泊は南アルプス市の古民家をお借りし、食事は主婦の仲間、「ボランティア募集」のビラを見て参加してくれたグループの皆さんなどがつくってくれ、また遊びのボランティアには大学生も参加してくれました。

遊びの企画は、全国農民会議・山梨の農民の方の果樹園での果物狩り、山の上の木陰でのそうめん流しとバーベキュー、甲斐駒ヶ岳の清流



尾白川の名水公園での水遊びなど盛りだくさんでした。またボランティアの講師の方の指導で行った「崖の上のポニョ」のダンスは短時間で子どもたちがとても上手にでき皆びっくりさせられました。

私たちの会の課題としては、お金あつめと運動の拡大をどうつくっていくかです。資金は趣旨に賛同してくださった個人やグループ、会員のもとに職場や地域で寄せられたカンパ、それと街頭カンパです。保養運動と原発なくせの運動の一体的発展をどうつくるかも問われています。山梨の会の「山梨での夏休み2014」の反省会では、安倍政権が福島きりすてや改憲攻撃にふみだしているなかで、会員がもう一歩前面に出て闘おうということが議論されました。

和歌山の海・川・山で丸ごと保養 3・11反原発行動を機に出会って

椎名千恵子

和歌山の「ハッピーアイランド保養プロジェクト」が、8月17日から4泊5日の保養に取り組んでくれました。きっかけは、13年3・11反原発福島行動に、原発建設を止めた「脱原発わかやまネットワーク」の寺井拓也さんが参加し発言したこと。その後、私の和歌山スピーチツアーをも経て、今回の保養の受け皿を作って下さった方々、柴田野苺さん一家、桜井さんご夫妻に出会うのです。野苺さんを中心に今年6月には、その資金づくりもかねた森の中のイベントの実現までにこぎつけました。

この2人の海と山の自宅が保養の受け入れ先です（写真）。福島から参加したのは2組の親子です。高畑さん親子はふくしま共同診療所の患者で、もらったチラシを見ての参加。鈴木さん親子は、平塚保養の診療所見学の際に掲示板の手づくりポスターを見たのがきっかけです。

湿気のない紀州の夏、ゆったりとスローライフを営む中で、どんなにか子どもたちの心が解放されたことでしょうか。野苺さんの日記から、みなさんのいきとどいた心使いも伝わってきます。「高畑さん親子、波打ち際で遊ぶ。深いと



ころは怖がるが、一緒に手をつないで行く。犬とともに散歩。犬は嫌いと言っていたがすぐ慣れる」「そば屋さんの招待を受ける。私の仕事先のホテルでのライブ、野天風呂も満喫、海中公園やシュノーケリングも体験しアドベンチャーワールドへ。鈴木さん親子も合流。近所の子どもたちとよく遊ぶ。紀伊民報の取材あり。娘がゆったり海につかっている間に自分史を語るお母さん」

地域をまきこみ初めて保養を受け入れて下さった皆さんは、その後、和歌山の「A2-B-C」上映会にも参加し、感想を寄せてくれました。「最初から涙が止まりませんでした。『怒っていいんだ』というセリフが出てきた場面で、キリリと背筋が伸びました。映画に出てきた福島のお母さんは、私にとって鈴木さんであり、高畑さんでした」

スケジュール

■北海道・ふくしま共同診療所報告会

と き 12月14日(日) 13:30～16:00(13時開場)
ところ 札幌教育文化会館(札幌市中央区北1条西13丁目)3F研修室302
報告 杉井吉彦さん(ふくしま共同診療所医師)
参加費 500円
主催 NAZENさっぽろ
Nazen-sapporo2011@softbank.ne.jp

■埼玉・映画『A2-B-C』上映会

と き 11月30日(日) 14:00～15:15
(フリートーク 15:15～16:10)
ところ 上尾市コミュニティセンター(上尾市柏座4-2-3)
鑑賞料 1000円(※託児が必要な方は連絡下さい)
終了後 反原発デモ(16:30出発→上尾駅西口まで)
主催 NAZENさいたま TEL 090-4000-2756

■千葉・『わすれない ふくしま』

と き 11月23日(日) 13:00～(12:30開場)
ところ 船橋中央公民館・視聴覚室
参加費 300円
主催 原発なくせ!ちばアクション
chiba20110507@mail.goo.ne.jp

■東京・日米ガイドライン粉碎!秘密保護法反対!国会デモ

と き 12月6日(土) 13:00集合 14時デモ出発
ところ 新橋駅SL広場
主催 全日本学生自治会総連合(斎藤郁真委員長)

■東京・100万人の署名で星野さんを取り戻そう!

11.29 全国集会

と き 11月29日(土) 14:00開始
ところ 四谷区民ホール(新宿内藤町87四谷区民センター9F)
会場費 500円
主催 星野さんを取り戻そう!全国再審連絡会議
TEL 03-3591-8224

■大阪・追い出し反対!植木団地闘争

と き 11月30日(日) 13:00～
ところ 高槻市植木団地(大阪府高槻市川添1-18-1)
主催 高槻市富田園芸協同組合/植木団地労働組合/全国水平同盟高槻支部 連絡先 TEL 072-693-0056

■川内原発再稼働許さんばい!NAZEN福岡3周年集会

と き 11月30日(日) 13時30分～16時30分
ところ 福岡県農会館4F大ホール(福岡市中央区今泉1-13-19)
講演 ふくしま共同診療所医師 杉井 吉彦さん
特別提起 城臺 美彌子さん(NAZENナガサキ)
資料代 500円
主催 :NAZEN福岡 TEL 092-483-0860

■長崎・ふくしま共同診療所報告会

と き 11月23日(日) 13:30開会
ところ 長崎市男女共同参画推進センターアマランス・研修室1(長崎市魚の町5-1長崎市民会館)
お話し 杉井吉彦さん(医師)
カンパ 500円
主催 NAZENナガサキ TEL 095-800-1107



NAZENの活動をぜひ年会費で支えて下さい。毎月の通信を発送致します。年会費は、個人一口2000円、団体一口3000円です。半額ずつ各地のNAZENと全国財政として使わせていただきます。会計年度は1月1日～12月31日です。皆様のご協力をお願いします。

◆◆◆ 郵便局 振替口座 ◆◆◆

口座番号 00120-8-763817
加入者名 すべての原発いますぐなくそう!全国会議
銀行口座からの振込の場合 ○一九店 0763817
※振り込みの際は、「年会費○人、○団体分」
「保養カンパ」などお書き下さい



◆◆◆ 診療所基金はこちら ◆◆◆

福島診療所建設委員会の口座へ

★郵便振込口座 02200-8-126405

福島診療所建設基金

★銀行口座

福島銀行 本店(110)普通 1252841

福島診療所建設基金 代表 渡辺 馨

★PayPalでのお振り込み

アカウント

clinicfukushima@yahoo.jp

渡辺馨(福島診療所建設委員会)



投稿募集!

各地の反原発行動やスケジュール、ご意見など全国からお便りをお待ちしています。
〒167-0032
東京都杉並区天沼2-3-7 さかいビル3B
info@nazen.info